

Hospital Concert

「みちぼっち音楽会」

～ちいさい秋みつけた～



田中 美智代

ソプラノ

ミニ・キーボード弾き歌い

「ちいさい秋みつけた」「月の沙漠」「落葉松」など秋の季節の日本の歌、
「オンブラ マイ フ」など世界の名曲を、ミニ・キーボードを弾きながら歌います。
みなさまと音楽のひとときをご一緒できますことを楽しみにしております。

【日時】2018年10月19日(金)17:00～17:40

【場所】がん研有明病院1階ホスピタルストリート



がん研有明病院

THE CANCER INSTITUTE HOSPITAL OF JFCR

【プログラム】

- ◆サトウハチロー 作詩／中田喜直 作曲 「ちいさい秋みつけた」
- ◆G.F.ヘンデル 作曲
オペラ『セルセ』より 'Ombra mai fu' 「オンブラ マイ フ(樹木の蔭で)」
- ◆加藤まさを 作詩／佐々木すぐる 作曲 「月の沙漠」
- ◆中原中也 作詩／木下牧子 作曲 「湖上」『古風な月』より
- ◆アイルランド民謡 トマス・ムーア 作詩／堀口敬三 訳詩
'Believe me, if all those endearing young charms' 「春の日の花と輝く」
- ◆野上彰 作詩／小林秀雄 作曲 「落葉松」

【演奏者プロフィール】



田中 美智代

(ソプラノ、ミニ・キーボード弾き歌い)

新潟大学卒業後、30代を過ぎて幼少時からの夢だった音楽を勉強しようと音楽大学に入学した。
東京音楽大学音楽学部声楽専攻卒業。東京音楽大学大学院音楽学部音楽教育専攻音楽学研究領域修了。
東京音楽大学大学院音楽学部科目等履修生声楽専攻二年修了。

声楽を箕輪久夫、五日市田鶴子、阿部純、武田正雄、古楽声楽を鈴木美登里各氏に師事。
古楽声楽マスタークラスレッスンなどにて、エマ・カークビー、ルーファス・ミュラー、ロベルタ・マメリ各氏、他にも多数の外国の古楽歌手に指導を受けた。ピアノを相馬上子、佐川草子、チェンバロを渡邊順生各氏に師事。レパートリーはルネサンス末～バロック時代の声楽曲及び、ドイツリート、日本歌曲、フランス歌曲。これまでに都内の小ホールやサロンで5回のリサイタルを開催。ミニキーボード弾き歌いとしては、カフェライブや病院のボランティアコンサートなどで活動中。

【コンサートのご報告】



10月のホスピタルコンサートは、ソプラノ歌手でミニキーボード弾き歌いの田中美智代さまをお迎えしました。キーボードでのコンサートは今回初めて、どのようなコンサートになのか楽しみお持ちくださった方が多く、病棟からも沢山の入院患者さんがお越しくださいました。演奏は小さなキーボードとは思えないほど素敵な音色で田中さんの美しい歌声と共にホスピタルストリートに響き渡りました。「月の沙漠」や「ちいさい秋みつけた」の演奏では、一緒になって口ずさむ患者さんもいらっしゃるほど、聴き馴染みのある曲で楽しいひとときを届けてくださいました。実は田中さん、研究所の実験病理部の広田先生の学生時代のご友人で、リサイタルを開催の他、病院でのボランティアコンサートも開催されているとのことで、演奏プログラムの説明も患者さんやご家族に優しく語りかけるようにお話しくださり、会場がほっこりと温かい雰囲気に包まれました。アンコールでは田中さんのご主人さまにも飛び入り参加していただき、皆さんと「ふるさと」を大合唱することができました。季節にぴったりの素敵なコンサートとなりました。田中さん、ありがとうございました！